



# 口加だより

平成29年6月30日発行  
長崎県立口加高等学校  
第3号

あやめが丘の窓から 

## スタート・ダッシュ！

校長 下釜祐保



勝負ごとは、始まってすぐに勝敗の行方がほぼ決まってしまうことが珍しくない。

6月5日（月）14：30、高総体陸上競技女子800m決勝のスタートを合図するピストルの音が競技場に響いた。スタートして100mも走らないうちに独走状態になった。飛び出したのはオレンジ色のユニフォーム。他の選手に追従を許すことなくトラックを2周し、右手で拳を作ってフィニッシュテープを切った。この瞬間を地元新聞は、写真付きで掲載し、見出しを“ルーキー森北”と表した。優勝したのは、本校1年の森北詩音選手（加津佐中出身）である。

思い出すのは、ちょうど2年前の高総体。同じ諫早総合陸上競技場、当時本校3年の高木駿一選手（北有馬中出身、現鹿屋体育大）が大会記録を15年ぶりに更新して優勝した走りと同じ展開であったことだ。

両者に共通するのは、スタート・ダッシュで優位に立ち、他に巻き返しのチャンスを与えることなく勝敗を決めた。

何ごとも、最終結果が出るまで何が起きるか分からないが、競走に限らず、序盤で優位に立てばその後の展開はより楽に進められるというもの。高総体を終え、3年生の放課後は補習や自学などが始まっている。まだ、ひと月も経たないが進路実現へ向けての熱いまなざしと雰囲気が高まっていることを「さすが」と称えたい。

東井義雄先生の次のような詩がある。

あすがある  
あさってがあると考えている間は  
なんにもありはしない  
かんじんの「いま」さえないんだから

東井先生は、「いま」が“かんじん”と表現されている。「いま」は未来への出発点。さあ、夢に向かって、今こそ力強いスタート・ダッシュでとりかかろう！



### 学年だより

#### ～第1学年より～

1年生が入学してから3ヶ月が経とうとしています。私自身、今年度この口加高校に赴任し、1年生のみなさんと一緒に過ごしてきましたが、あっという間の3ヶ月でした。この3ヶ月を、一緒に過ごしていて感心していることが2点あります。

1つ目は、元気の良さです。毎日の挨拶はもちろん、授業中もよく声が出ていて、授業をしていてとても楽しいです。

2つ目は、学校開放への参加率です。毎回、平均して20～30人くらいの生徒が学校開放に來ています。1年生のうちからこれだけ参加していると、3年生になってからが楽しみです。

普段、厳しいことも言っていますが、私は、今年の1年生はスーパー学年だと思っています。そんなスーパー学年のみなさんにお願ひがあります。それは、「継続する」ことです。元気の良さも、学校開放への参加も、他の多くの良い行いも、続けなければ意味がありません。良い行いを継続して、超スーパー学年に育って欲しいと願っています。期待しています。これからも充実した学校生活を一緒に過ごしていきましょう！

(1年2組担任 山本 将平)

#### ～第2学年より～

野球部・吹奏楽部など、一部の部活動を除いて3年生が引退し、2年生がリーダーとなる機会が増えてきました。そんな中、生徒会役員選挙も公示され、2年生からも立候補の表明が続々と届いています。私は今年度から、生徒育成部で生徒会を担当するようになり、高総体が終わって一息つく間もなく選挙の準備に取りかかっています。今年の生徒会選挙は、南島原市選挙管理委員会にもご協力いただき、より本物の公職選挙に近づけるよう、例年になかったアイテムを用意しています。5月の生徒総会に続き、今度の生徒会選挙が、生徒の皆さんにとって多くの学びが得られる機会となれば幸いです。

(2年2組担任 藤本 和弘)

#### ～第3学年より～

3年生にとって最後の高校総体が終了しました。野球部や吹奏楽部など一部の部活動はまだ活動がありますが、部活動は一区切りの生徒が多いと思います。結果に満足の人や悔いがある人もいるでしょうが、きっとその「過程」には心残りはないはずです。「同じ釜の飯を食った仲間」という言葉がありますが、毎日の練習や遠征を通して得た「仲間」はこれからの人生で一番の財産になるはず。一生大切にしてください。

悩んだり、思うように成績が伸びなかったり、苦しい時期もあると思いますが、そんなときこそ部活動で培った精神力で乗り越えて欲しいと願います。君たちにはたくさんの「仲間」がいます。受験勉強は長丁場。多少無理をしなければならぬときもあると思いますが、「栄養」と「休養」を心がけながら、あの高総体のように堂々と立ち向かってください。

(3年2組担任 村岡 拓治)

# 6月の行事

## 高総体報告会

6月8日(木)

高総体を終え、各部の主将が結果報告を行いました(詳細な結果は6月号その2に載せています)。

それぞれが今までの感謝と後輩へ託す思いを語り、進路へ向けた新たな気持ちが伝わってきました。



鼓舞せよ魂  
目指せ 最高の瞬間  
三年一組 福田流偉司

## 地区別高校説明会

【本校】6月14日(水)、【有家】19(月)、【南串山】20日(火)

上記3日間にわたり地区別の高校説明会を行いました。

お忙しい中、たくさんの保護者の方、中学生の方に足を運んでいただき、誠にありがとうございました。また、熱心に耳を傾け、多くの質問をして下さったことにも重ねて感謝いたします。今後の説明会やオープンスクールに反映させたいと思います。



今後については1回目のオープンスクールを8月1日(火)に予定しています。生徒会役員を中心に、在校生がお手伝いをして、校内見学や体験授業、地区別集会での交流や部活動体験など、口加高校をもっと知っていただけるように準備をしています。申し込みについては、近日中にHP上でお知らせしますので、興味をお持ちの方は是非参加をご検討ください。



また、学校施設の見学や入試についての質問等は随時対応しておりますので、お気軽にお声掛けください。  
(担当:教務部主任 久部利恵子 86-2180)

## 3年生進路講演会

6月15日(木)

3年生の進路講演会が開催されました。今年度は、(株)さんぽう専任講師 宮崎照行先生をはじめとして、長崎女子短期大学や麻生看護大学校、公務員ゼミナール諫早校から講師の方が来てくださいました。大学や短期大学、専門学校、就職・公務員に



ついてそれぞれ分かれて説明を受け、看護希望者は模擬授業を、公務員希望者は面接指導など実践的な講習を受けました。専門学校希望者は27校から2校を選び、各ブースで個別の説明を受け、その場で質問するなど、進路に対しより明確なイメージを持つことができたようです。大変刺激になり、高総体後の気持ちの切り替えの一助となりました。

## 今月の生活創造コース&家庭科の取り組み

<3年生 生活創造コース>

10日(土) 家庭科技術検定洋服2級

13日(火)・14日(水)

第64回長崎県高等学校家庭クラブ連盟総会・研究発表大会

第65回全国高等学校家庭クラブ研究発表大会リハーサル大会参加

8月に開催される全国大会(長崎)では、3年生の志方圭華さんが、全国生徒書記を務めます。

<2年生 生活創造コース>

16日(金) 若木保育園訪問

<1年生 全員>

19日(月)・21日(水) 乳幼児ふれあい体感事業

赤ちゃん抱っこ体験やお母さんへのインタビューなどを行いました。ご協力いただいた親子の方々、ありがとうございました!



## 今月のグローバルコース

グローバルコースの生徒たちは今月より南島原市とタイアップし、南島原市第Ⅱ期総合計画策定に向け活動をスタートさせました。

高校生が考える「理想の南島原市像」や、それに向けて実践していく「口加高校グローバルコース10の宣言」の策定を目指します。また6月25日(日)には香港中国婦女会馮堯敬紀念中学の皆さんと異文化交流会を行いました。生徒たちは、南島原市の自然や文化を発信すると同時に、中国や香港の文化に触れることができ、自国文化(ローカル)と異国文化(グローバル)への理解が深まったようです。



## 職員ペンリレー

寺田 剛史 先生(数学科)

「孝行のしたい時分に親はなし」私がこのことわざを痛感したのは高校2年生のときでした。私の母は、私が高校2年生のときに病死しました。亡くなる少し前までは健康でほとんど病気をしたことが無かったため、亡くなるまで母の死を全く想像できませんでした。だから当時は「だいたい人は80歳ぐらいまで生きるから、親孝行は社会人になって、温泉旅行とかに連れて行けばいい」ぐらいに考えていました。その結果、多くの支えをもらっていたにもかかわらず、こちらからは大して何もできなく、後悔だけが残りました。人はいつ死ぬのか本当にわからない、ということを痛感しました。

皆さんは親孝行をしていますか?何をしたら親孝行になるのかは人それぞれであるため、具体的に何をしたらいいとは言えません。ただ、身内が亡くなるということを想像してみて、今の状況のままで後悔なくいれるかどうか、考えてみてください。そして、その時はいつ来るのかわかりません。ぜひ、行動に移してください。

